

平成30年度第1回図書館協議会（議事録要旨）

日時 平成30年7月11日(水)

午後2時～

場所 豊明市立図書館 会議室

出席 橋本、近藤、小柳津、宮坂、柴田、鈴木（裕）、西谷委員、事務局

議題

（1）平成29年度事業報告について

資料1「平成29年度実績報告書」に基づき、説明。

（2）平成30年度事業計画について

資料2「平成30年度図書館事業計画」に基づき、説明。

（3）その他

質疑・応答

（1）平成29年度事業報告について（資料1）

委員：ブックスタートについて、どんな本を渡しているか？ 読み聞かせはどの団体が行っているか？

事務局：本は「がたんごとん がたんごとん」。赤ちゃんがいじりやすい、小さめの厚紙絵本を渡している。読み聞かせは、乳幼児向けの読み聞かせを得意とするグループ「おはなしぼん」の方が1対1でしている。

委員：お母さんのせわしない生活の中で、ゆったりとした時間を持てる体験となつてほしい。

（2）平成30年度事業計画について（資料2）

委員：図書館フェア「私のイチ押し本」の対象は？ 誰に向かって勧めるのか、それによって書き方を変える必要がある。

事務局：誰（大人か子どもか等）に向けてのおススメでもかまわない。展示方法などの詳細は、作品の集まり次第で検討する。

委員：ひまわり古本市がなくなった理由は？ 本を役立ててもらえると喜んでいたので。

事務局：ひまわり古本市は実行委員会形式で開催していたが、実行委員団体の1つが解散したこと、実行委員も高齢化し年々負担が増して、運営が厳しい。また、廃品処分のような状態の悪い本も多く、売れ残って捨ててしまう本が増えている。そのため、前回の会議で中止を決定した。

委 員：昨年の会議でも継続を粘ったのだが。

事務局：ひまわり古本市とは別に、図書館蔵書の除籍した本（雑誌の保管年限切れや古い本で複数あるもの等）を配布している。

一般配布の前に、市内の学校や保育園など公共施設に案内し、特に児童書を利用してもらっている。7月7・8日の配布終了後も、図書館玄関に置いてあるのでどうぞ見ていってほしい。

委 員：玄関先の見やすいところにあるので手にとりやすい。今後も何らかの形で続けてほしい。

委 員：玄関の（掲示）レイアウトが良くなった。字が大きく、色使いが見やすくなった。私たちのことばを活かしてもらえるので、やりがいがある。

委 員：読み聞かせをしている者として、最近反省することがあった。

児童館で障がい者向けの本の読み聞かせを行った。視覚障がい者向けに手ざわりを楽しめる本に対し、子どもの反応が大きかった。これまでこういった本は紹介してこなかったが、考えが一方的だったと反省した。

事務局：児童室内に視覚障害者用絵本のコーナーを設けている。さわる絵本はよく借りられているが、小学生向けの新書を大活字にした本はほとんど出ない。見え方は一人ひとり異なり、なかなか提供が難しい。

委 員：2～3年前にあった多文化、多言語の本を増やす話はどうなったか？

事務局：特に予算をとって重点的に購入はしていないが、選書の段階で、多文化に関する本や、外国語表記の本がないか、気をつけている。

（3）その他について

委員長：事務局、何かありますか。

館 長：特にありません。